

平成 17 年 4 月

試験研究業務月報



養液土耕栽培ベッド施工の様子



防根透水シートの上に培地を入れる



定植 1 箇月後 順調に生育



給液量、給水量を測定

トマトの土壤病害回避と施肥量低減のための養液土耕

土耕トマトでは連作による土壤病害の発生や、過剰施肥による養分集積が問題になっています。そこで、土壤病害回避が可能で施工・管理が容易な根域制限型の養液土耕を検討しています。

現在は、防根透水シートをうね内に幅30cm、深さ20cmで埋設して根域制限を行い、施肥は液肥で週1～2回、かん水は土壤水分に応じてドリップチューブで行う方式で栽培中ですが、試験では、トマトの養分吸収に合わせた生育時期別の施肥法を明らかにするとともに、施肥量低減のための養水分管理技術を確立します。

農業総合研究所